



中野先生が挙げる代表的な美しい頬は、高めの位置に横長楕円形のキャサリン・セタ=ジョーンズ。Photo by Alexi Lubomirski

5

おなか・あご・ひじ・膝のたるみまで！  
脂肪溶解注射でボディデザイン自在！

**年** 齢が表れてしまうのは顔だけでなくボディラインも。いくらエクササイズをしても落ちにくい脂肪というのは悩みの種だ。「その解消のためには脂肪溶解注射がいいですよ」と中野先生。ヨーロッパでは10年前から当たり前、という施術で、主成分は脂肪燃焼効果で知られるシカルニチン。脂肪層に直接注入すること

で、効率よく有酸素運動をさせるような効果が得られ、脂肪が分解されてゆっくり排出されるといいう仕組みだ。そのメリットは？「短時間で脂肪を取り除く脂肪吸引は、皮膚がたるみやすいので術後にコルセット的なものの装着が必要ですが、注射の場合はじわじわ効くのてたるまず、むしろ締まった印象に仕上がります。何より、

減らしたい部分に注射するので微妙なボディデザインが可能。2〜3年前からは、ハリウッドの女優たちも少し脂肪が増えると注射しているらしいですよ」（中野先生）  
何カ所かに分けて注射するので内出血する可能性もあるが、あとは3〜10日程度で消える。数日は薬を行き渡らせるために朝晩軽く

マッサージを行うことが必要だそう。「あおいクリニック」では、効果のなかった人はゼロ。サイズダウンの平均は、二の腕で1cm、腰回り3〜5cm、足首5mmなど。年齢を感じさせるひじや膝の上の脂肪や、もたついてきたフェイスマッサージにも効果的だそう。



Photo by Cannonieri & Fortis

4 欧米の重要美人ポイントは“立体的な頬”だった！

**ヨ** ヨーロッパの美容皮膚科学会に定期的に出席している、「あおいクリニック」院長の中野あおい先生。最新の注目トピックは「高くふっくらした頬」。だと即答。「欧米人にとって頬の位置が高くて立体的なことはとても重要なんです。日本人はあまり意識していない部分ですが、彼らの美人基準だと、頬がのっぺり平らなのはアウトみたい」。学会では「頬を立体的にする施術」のワークショップが大盛況で、そんな現実を



あおいクリニック 中野あおい先生  
注目の施術は学会のワークショップなどで勉強し、自ら試す姿勢が人気。☎03-3569-0686

確信したそう。確かに、欧米人と結婚した日本女性、たとえばオノ・ヨーコ、岸恵子、中村江里子らは揃って立体的な頬の持ち主。欧米の美人基準を満たすだけでなく、「頬は年齢と共に下がってくるので、ここを高くするとリフトアップ効果も得られて、5〜10歳若い印象になる」と中野先生。頬を高くする施術は欧米では珍しくなく、日本人がヒアルロン酸の注入で鼻をちよっと高くすると似たような感覚だという。  
国際美を狙うなら立体的な頬に。ヒアルロン酸の注入でそれは可能。「その人の骨格と雰囲気に合わせて、持続効果の高い次世代型と従来のヒアルロン酸を組み合わせて注入します」（中野先生）